

様式第6 (第8条関係)

ダイオキシン類測定結果報告書

(2022)

北海道知事 殿

2022年 8月 2日

留萌市住え江町1丁目3番地の1

貝森工業株式会社

報告者

代表取締役 貝森 将之



ダイオキシン類による汚染の状況について測定したので、ダイオキシン類対策特別措置法第28条第3項の規定により、次のとおり報告します。

表1 排出ガス

採取年月日 及び時刻 (開始時刻～ 終了時刻)	排出ガス量 (m^3 /日)	排出ガス中の 酸素濃度(%)	測定箇所	特定施設の名称 及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng — TEQ/m^3N)	試料採取者	分析者	備考
2022年6月30日 10:40 ～ 14:40	77520	11.7	煙突測定口	(貝森工業廃棄物焼却炉) 通常通り使用	2022年6月30日 ～ 2022年7月27日	0.69	(株)第一岸本 臨床検査セ ンター	(株)第一岸本 臨床検査セ ンター	整理番号 1

表2 排水水

採取年月日 及び時刻	測定場所		特定施設の名称 及び使用状況	分析年月日	測定結果(μg — TEQ/L)	採水者	分析者	備考
	名称	排水量 (m^3 /日)						

表3 ばいじん等

採取年月日 及び時刻	試料の種類	採取箇所	特定施設の名称 及び使用状況	分析年月日	測定結果(ng — TEQ/g)	試料採取者	分析者	備考
2022年7月1日 08:20	ばいじん	BF下部	(貝森工業廃棄物焼却炉) 通常通り使用	2022年7月4日 ～ 2022年7月27日	1.0	貝森工業(株)	(株)第一岸本 臨床検査セ ンター	整理番号 2
2022年7月1日 08:30	焼却灰	灰出口	(貝森工業廃棄物焼却炉) 通常通り使用	2022年7月4日 ～ 2022年7月27日	0.044	貝森工業(株)	(株)第一岸本 臨床検査セ ンター	整理番号 3

備考 1 報告書及び別紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 ダイオキシン類対策特別措置法施行規則(以下「規則」という。)第3条第1項に基づき換算した測定結果については、別紙1を添付するものとする。

3 規則第3条第2項に基づき換算した測定結果については、別紙2を添付するものとする。

4 2以上の測定結果がある場合は、添付する別紙1又は2のそれぞれとの対応関係がわかるように備考欄に記載すること。

5 排出ガスにあっては表1、排水水にあっては表2、ばいじん及び焼却灰その他の燃え殻(以下「ばいじん等」という。)にあっては表3に記載すること。なお、同一届出者が大気基準適用施設及び水質基準対象施設をともに設置している場合には、併せて1葉の様式に記載すること。

6 排出ガス量については、温度が零度であって圧力が1気圧の状態(以下「標準状態」という。)における量に、測定結果については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとする。

7 2以上の水質基準対象施設を設置し、異なる排水系統を有する水質基準適用事業場にあっては、それぞれの排水系統の排水口ごとに測定を行い、結果を記載すること。

8 表2の試料の種類として、ばいじん、焼却灰、混合灰又はこれらの処理物(処理方法)の別を記載すること。

9 氏名(法人にあってはその代表者の氏名)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあってはその代表者)が署名することができる。

分析結果

分析結果細目は、次項より示す。

排ガス中における一酸化炭素濃度及び排ガス温度連続測定値（平均値）

対象施設名	採取年月日	CO濃度(12%-O ₂ 換算)[ppm]	排ガス温度[°C]
貝森工業(株)廃棄物焼却炉	2022年6月30日	279	191

ダイオキシン類分析結果一覧及びダイオキシン類対策特別措置法に基づく基準値との比較

対象施設名および検体名	採取年月日	採取場所	毒性等量測定結果	単位	基準値
貝森工業(株)廃棄物焼却炉排ガス	2022年6月30日	煙突測定口	0.69	ng-TEQ/m ³ N	10 *1
貝森工業(株)廃棄物焼却炉飛灰	2022年7月1日	BF下部	1.0	ng-TEQ/g (dry)	3 *2
貝森工業(株)廃棄物焼却炉焼却灰	2022年7月1日	灰出口	0.044	ng-TEQ/g (dry)	3 *2

*1 排出規制基準（ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第1条の2（別表第1））

*2 処理基準（ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第7条の2、廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第1条第5項）

1200700 - 20

計量証明書

整理No. Z2200121 -1 1/2

2022 年 7 月 27 日

貝森工業株式会社 様



株式会社 第一岸本臨床検査センター
〒007-0807 北海道札幌市東区伏古七条三丁目1番1号
株式会社 第一岸本臨床検査センター環境計量センター
特定測定(北海道第903号)認定番号: 01-0005
〒053-0818 北海道苫小牧市日吉町1丁目1番1号
TEL.0144-72-8712 FAX.0144-72-2171

環境計量士 川崎 悠紀

受付年月日	2022 年 6 月 30 日	受付方法	当方採取
採取年月日	2022 年 6 月 30 日	採取時刻	10時40分 ~ 14時40分
天 候	晴	温 度	気温 22.2℃ 水温 ***℃
採 取 者	五十嵐 直樹、宮森 泰	検査担当者	谷 保之
施 設 名	貝森工業(株)廃棄物焼却炉		
試 料 名	排ガス		
採取場所	煙突測定口		
特記事項			

ご依頼をうけました上記試料について計量した結果を下記の通り証明します。

計量の対象	計量の結果	単 位	計量の方法
ダイオキシン類実測濃度	82	ng/m3	JIS K 0311:2020
毒性等量	0.69	ng-TEQ/m3	同上
-以下余白-			
備 考	※ 毒性等量については、計量法第107条の対象外 ※ 上記測定結果は標準状態(0℃,101.32kPa)における結果		

計量証明書

1200700 - 20

2022年7月14日

証明書番号 B2200107



株式会社第一岸本臨床検査センター
〒007-0867 北海道札幌市東区伏古七条二丁目10番地
株式会社第一岸本臨床検査センター環境部 検査調整部
滝底(北海道第043号) 熱帯(北海道第043号)
〒053-0016 北海道苫小牧市日吉町2丁目1番地
TEL 0144-72-6712 FAX0144-74-2171



環境計量士 川崎 悠紀



貝森工業株式会社 殿

施設名及び型式名	貝森工業(株) 廃棄物焼却炉	
測定年月日	2022年6月30日	09:43~13:39
測定者氏名	宮森 泰	五十嵐 直樹

計量の対象		計量の結果		規制基準値 (参考値)	分析の方法
ばいじん	実測値	0.005未満	g/m ³		JIS Z 8808 円形ろ紙法
	酸素 12 vol%換算値	0.004未満	g/m ³	0.15	
硫黄酸化物	実測値	300	cm ³ /m ³		JIS K 0103 附属書JC イオンクロマトグラフ同時 分析法
	排出量	2.9	m ³ /h	9.64	
窒素酸化物	実測値	19	cm ³ /m ³		JIS K 0104 附属書JA イオンクロマトグラフ同時 分析法
	酸素 12 vol%換算値	19	cm ³ /m ³	250	
塩化水素	実測値	10	mg/m ³		JIS K 0107 附属書A イオンクロマトグラフ同時 分析法
	酸素 12 vol%換算値	9	mg/m ³	700	
ガス状水銀	実測値	0.38	μg/m ³		環境省告示第九十四号 排出ガス中の水銀測定法 (ガス状水銀)
	酸素 12 vol%換算値	0.36	μg/m ³		
粒子状水銀	実測値	0.004	μg/m ³		環境省告示第九十四号 排出ガス中の水銀測定法 (粒子状水銀)
	酸素 12 vol%換算値	0.003	μg/m ³		
全水銀	実測値	0.38	μg/m ³		環境省告示第九十四号 排出ガス中の水銀測定法
	酸素 12 vol%換算値	0.37	μg/m ³	50	
— 以下余白 —					
備 考		※判定;上記項目については、排出基準に適合する。 ※硫黄酸化物量および酸素換算値については、計量法107条以外の証明 ※上記測定結果は標準状態(0℃,101.32kPa)における結果 ※cm ³ /m ³ = volppm(体積百万分率) ※全水銀はガス状水銀と粒子状水銀の合量			

計量の結果欄に未満と表示されている数値は定量下限値を示す。

ばい煙量等測定結果総括書

報告書No.

B2200107

事業所名 貝森工業(株)
施設名 廃棄物焼却炉

測定年月日	2022年6月30日	測定時刻	09:43 ~ 13:39	測定箇所	煙突測定口	
測定者名	宮森 泰 五十嵐 直樹	燃焼状態	連続測定			
測定方法	ばいじん JIS Z 8808円形ろ紙法 硫黄酸化物 JIS K 0103 附属書JCイオンクロマトグラフ同時分析法 窒素酸化物 JIS K 0104 附属書JAイオンクロマトグラフ同時分析法 塩化水素 JIS K 0107 附属書AIオンクロマトグラフ同時分析法 ガス状水銀 環境省告示第九十四号排出ガス中の水銀測定法(ガス状水銀) 粒子状水銀 環境省告示第九十四号排出ガス中の水銀測定法(粒子状水銀) 全水銀 環境省告示第九十四号排出ガス中の水銀測定法					
排出ガス組成	二酸化炭素(CO ₂)	酸素(O ₂)	窒素(N ₂)	空気比		
	10.0 vol%	10.6 vol%	79.4 vol%	2.01		
焼却能力	1.3 t/h					
使用燃料	下記の数値は、燃料メーカー試験成績表より転記					
	種	類	***			
	組	成	密度	g/cm ³ , 15°C	硫黄分 vol%	窒素分 vol%
	高	発	熱	量	kcal/kg	(kJ/kg)
焼却物 (測定当日)						

測定項目	単位	測定結果		規制基準値 (協定値)
		平均	最大	
排ガス	温度	°C	188	
	酸素濃度	vol%	10.6	
	流速	m/s	8.3	
	水分	vol%	13.5	
排ガス量	湿り	m ³ N/h	11200	
	乾き	m ³ N/h	9690	
ばいじん	実測値	g/m ³ N	0.005未満	0.005未満
	酸素 12 vol%換算値	g/m ³ N	0.004未満	
	排出量	kg/h	0.048未満	
硫黄酸化物	実測値	volppm	300	340
	排出量	m ³ N/h	2.9	
	K値		-	
窒素酸化物	実測値	volppm	19	23
	酸素 12 vol%換算値	volppm	19	
	排出量	m ³ N/h	0.18	
塩化水素	実測値	mg/m ³ N	10	10
	酸素 12 vol%換算値	mg/m ³ N	9	
	排出量	kg/h	0.097	
ガス状水銀	実測値	μg/m ³ N	0.38	
	酸素 12 vol%換算値	μg/m ³ N	0.36	
粒子状水銀	実測値	μg/m ³ N	0.004	
	酸素 12 vol%換算値	μg/m ³ N	0.003	
全水銀	実測値	μg/m ³ N	0.38	
	酸素 12 vol%換算値	μg/m ³ N	0.37	
備考	※全水銀はガス状水銀と粒子状水銀の合量 ※測定結果について、()内の数値は検出下限に対する値を示す			